



託児サービス



水戸葵陵高等学校書道部 書道パフォーマンス



文化デザイナー学院学生による参加

6月7日(日)に「休日議会」を開催しました！



ユニフォームで茨城のサッカーを応援(6月5日)



館 静馬 議長

県民の皆さまに県議会を身近で親しみやすく感じていただき、議会活動への理解と参画を推進するため、6月7日(日)に休日議会を開催しました。水戸葵陵高等学校書道部による書道パフォーマンスや、学生による傍聴など、若い世代の方々を含め、県内全域から556名の方にご参加いただきました。

また、一般質問の初日には、「サッカー王国茨城」を盛り上げ、議会を挙げて応援するために、議員有志が、鹿島アントラーズと水戸ホーリーホックのユニフォームを着用し、本会議に臨みました。

今後もより一層議会改革を進め、開かれた議会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

〈県議会HP〉

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています



〈いばキラTV〉

<https://www.youtube.com/@IbakiraTVCH>

本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています



〈県議会公式 X〉

<https://x.com/ibarakikengikai>

本会議や委員会などの議会活動の情報を発信しています



〈県公式 LINE〉

<https://lin.ee/6xV7ZlQ>

友だち追加で、いばらき県議会だよりの発行情報などをお届けします



主な内容	
■ 第2回定例会の主な日程、一般質問	2～3面
■ 今定例会で可決された議案など	3面
■ 常任委員会の審査から	4面
■ 議会改革度調査2025の結果など	5面
■ 閉会中の委員会活動	6～7面
■ 大学連携推進会議の開催結果など	8面

第2回定例会の
主な日程

令和8年第2回定例会は、左記の会期日程で開催されました。

6月2日(火)	本会議	(開会、知事提出議案説明)
6月5日(金)	本会議	
7日(日)	本会議	(一般質問・質疑)
8日(月)	本会議	
6月10日(水)	常任委員会	
6月12日(金)	県民の命を守る医療に関する調査特別委員会	
6月16日(火)	本会議	(委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)

●質問者

6月5日(金)

※議員有志による
ユニフォーム着用を実施

飯田 智男 議員
(いばらき自民党)

山本 美和 議員
(公明党)

木本 信太郎 議員
(いばらき自民党)

6月7日(日)

豊田 茂 議員
(いばらき自民党)

森田 卓歩 議員
(いばらき自民党)

高橋 直子 議員
(いばらき自民党)

6月8日(月)

二川 英俊 議員
(国民民主党)

横田 透 議員
(いばらき自民党)

長谷川 重幸 議員
(いばらき自民党)



こちらから録画映像でご覧になれます。▶



飯田 智男 議員
いばらき自民党
常総市・八千代町選出

外国人との秩序ある
共生社会の実現に向けた取組

議員 不法就労対策という「負の側面」への対処の次は、「正の側面」からの人権尊重や相互理解を深める条例の制定が必要である。多文化共生の理念を明確に定め、県としての揺るぎない姿勢を条例という形で示すべきではないか。

知事 本県は、真の多文化共生の実現に向け、全国に先駆けた幅広い施策を展開している。こうした具体的な取り組みにより相互理解を深めることが重要であり、現時点では条例制定は考えていない。

茶業の持続的発展と
抹茶生産の確立に向けた振興策

議員 本県の製茶事業者は、煎茶や和紅茶など高い評価を受ける一方、需要が高い抹茶の生産量はゼロである。本県の茶業振興と茨城の抹茶の確立に向け、県の所見は。農林水産部長 歴史ある茶産地として、引き続き煎茶の品質向上を図るとともに、ニーズが高まっている和紅茶の生産拡大への支援や、抹茶産地の育成など、収益性の高い茶業経営の確立に努める。



さしま茶の茶摘み



山本 美和 議員
公明党
つくば市選出

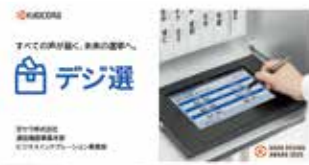
公立高校の通学手段の確保と、
教育機会の保障

議員 通学費の負担増は実質的に教育費の負担が増えるのと同じであり、生徒が「学びたい学校」ではなく「通える学校」を選ばざるを得ない。教育の機会均等に与える影響などをどう捉えているのか。教育長 通学環境が教育の機会均等に与える影響は、生徒数の減少や地域公共交通の変化なども踏まえ、中長期的な視点から把握する必要がある。庁内では関係部局の意見交換の場を設け、通学手段の確保など、情報共有を図っている。

電子投票導入支援による
「選挙DX」の推進

議員 電子投票システムの導入によって、無効票の排除やコスト削減などさまざまな課題が改善される。県がリーダーシップを発揮し、市町村と連携して選挙DXを推進すべきと考えるが、所見は。

選挙管理委員会委員長 電子投票の導入には、市町村による条例制定が必要となる。市町村に先進自治体の情報などを提供し、導入に向けた検討状況を注視していく。(ほかに、予期せぬ妊娠をめぐる実態と支援、ユニバーサルツーリズム※1の推進なども質問)



最新の電子投票システム「デジ選」(京セラ株式会社提供)



豊田 茂 議員
いばらき自民党
高萩市・北茨城市選出

県北振興策の更なる推進

議員 県北地域は工業地帯や豊かな自然を有し、多様な産業が存在している。今後、どのように他地域との「差別化」を図りながら、県北振興策を推進していくのか。知事 臨海部では、日立市・日立製作所との協働により進められている「共創プロジェクト」へのコミットを強化する。また、山間部では、里山資源を活用した忍者体験などを通じ、インバウンド誘客も意識しながら効果的なプロモーションを行っていく。

茨城県ツキノワグマ
管理計画に基づく対策強化

議員 全国的にもクマ被害が深刻化している。令和8年3月に改訂された「茨城県ツキノワグマ管理計画」を踏まえ、今後、どのようにクマ対策の強化を図るのか。県民生活環境部長 捕獲者確保のため、事前に県で捕獲者を登録し、緊急時に市町村へ派遣する体制を整備し、また、狩猟免許取得時の手数料やライフル銃取得経費などの補助制度を今年度から開始した。(ほかに、博物館法の一部改正に伴う文化観光施設の活用、流域治水対策なども質問)



注意喚起のチラシ※2



木本 信太郎 議員
いばらき自民党
水戸市・城里町選出

新県立病院を核とした特区の活用などによる
医療拠点形成と県央地域の振興策

議員 新県立病院の整備に伴い、特区の活用などによる周辺地域での医療拠点形成など、地域振興の最大化につながる取り組みの検討を進めるべきと考えるが、所見は。

知事 新県立病院は県央・県北の高度医療を提供する拠点病院として、整備に向けた検討を進めている。地元市や関係機関と丁寧に連携を図るほか、地域の強みや可能性が十分に発揮されるよう後押しし、新県立病院を核とした魅力ある地域づくりを着実に進めていく。



整備が予定されている西田川

異常気象を前提とした河川の氾濫対策と
西田川における今後の整備計画

議員 異常気象を踏まえ、将来リスクへの河川の氾濫対策と西田川の整備計画を今後どう進めるのか。土木部長 気候変動の影響を考慮し、河川整備計画の改定を順次進める。西田川については、段階的に治水安全度を高めていくことが必要であり、当面は堤防のかさ上げと調節池の整備を実施する。(ほかに、人口減少及び少子高齢化社会における地域社会の持続可能性の指標化と将来展望、部活動の地域展開に伴う地域間格差及び体験格差への対応なども質問)



森田 卓歩 議員
いばらき自民党
古河市選出

県内市町村と連携した
第3次茨城県総合計画の推進

議員 県総合計画の推進に当たっては、市町村との連携が不可欠であると考えるが、要となる財源の確保について、市町村への支援にどのように取り組むのか。

知事 国の交付金・補助金などの活用について相談対応や先進事例の紹介などを行っているほか、財政運営について財政指標に基づく必要な助言を行っている。引き続き計画の推進に向け広域的な立場から助言や情報提供を行い、市町村の主体的な取り組みを支援する。

中小・小規模事業者の
海外展開を促進する支援体制の構築

議員 意欲ある事業者の海外展開を促進するため、経営体力強化につながる国内展示会への出展支援が重要だと考えるが、県の考えは。産業戦略部長 今年度新たに、国内展示会への共同出展を支援する「ものづくり販路拡大応援事業」を開始した。今後は、事業の成果などを踏まえ、海外展開をさらに促進するための支援の在り方について検討を進める。



展示会共同出展の様子

一般質問(要旨)

外国人の不法就労対策
議員 不法就労を未然に防止するため、事業者は、雇用を的確に管理することが重要と考える。外国人労働者の適正雇用の取り組みは、産業戦略部長 事業者への巡回の際に、法令遵守や働きやすい職場づくりを啓発するとともに、国に事業者への監督指導の強化を要望した。加えて、外国人雇用で優れた取り組みを行う企業認定制度で、相談体制の構築なども認定基準とし、意識改革を促している。今後も、実効性のある施策を展開する。



二川 英俊 議員
国民民主党
ひたちなか市選出



事業者への巡回指導の様子

原子力発電に対する認識と
東海第二発電所の対応
議員 クリーンな電源として再評価されている原子力発電に対する認識は。また、東海第二発電所の再稼働にどう対応していくのか。防災・危機管理部長 原子力発電を含むエネルギー政策は国が責任を持って決定すべきであるが、安全確保と国民理解が大前提と認識している。東海第二発電所の再稼働の是非は、安全性の検証と実効性ある避難計画の策定に取り組み、県民などの意見を伺い判断する。(ほかに、公共交通(鉄道)の維持、街路樹の適正管理なども質問)

2027年
国際園芸博覧会への出展
議員 来年3月から開催の国際園芸博覧会に県も出展すると聞いている。出展を本県の花きや造園の振興、観光誘客の促進などへつなげるため、どう取り組むのか。知事 他の展示との差別化を図り、注目される展示を通して生産者の高い技術力や高品質の花きなどをPRし、県産花きの販路拡大と造園の魅力発信につなげる。また、国内外に向け話題性のあるプロモーションを積極的に展開し、観光誘客促進につなげる。



長谷川 重幸 議員
いばらき自民党
鉾田市・茨城町・大洗町選出

高年齢者の日常生活の維持確保
議員 民生委員制度の持続可能性を確保するとともに、地域の連携・協働を推進し、地域コミュニティの向上を図る必要があると考える。どう取り組んでいくのか。福祉部長 民生委員の担い手確保や負担軽減などを図る。また、高齢者が多世代と交流できる機会を創出し、好事例の横展開を図り、見守り体制づくりにつなげていく。(ほかに、つくばみらい市が活力を生むインフラ整備、文化芸術による、豊かな心を育む教育なども質問)



2027年国際園芸博覧会会場イメージ
(2026年6月現在)
画像提供: GREEN×EXPO協会

涸沼産シジミの漁獲量減少対策
議員 大粒で濃厚な味わいの涸沼のシジミは高いブランド力を誇っているが、漁獲量の減少が深刻である。県は、ブランド維持に向けて資源回復にどう取り組むのか。農林水産部長 稚貝を食害していると思われるキチヌ※2の駆除やシジミの生息に適した砂の散布、生息状況のモニタリングなどの対策に、漁協とともに取り組んでいく。(ほかに、外国人材に係る制度改正に伴う本県農業への影響と対応、高等学校教育改革促進基金の活用なども質問)

令和8年度6月補正予算案が可決
国補正予算に対応して、中東情勢の影響によるエネルギー価格高騰への負担軽減を図るため、LPGガス使用世帯や特別高圧を受電する中小企業などへの支援に必要な予算を計上した令和8年度6月補正予算案が可決された。(8億3300万円の増)

6月補正予算に計上された事業
エネルギー価格高騰対策 8億3300万円
・LPGガス料金負担軽減支援事業(LPGガス使用世帯等に対する料金負担軽減のための支援)
・特別高圧受電施設等電気料金支援事業(特別高圧契約で受電する中小企業等に対する料金負担軽減のための支援)

今定例会で可決された議案など
今回の定例会では、意見書、予算、条例、人事、報告、請願などの21件の議案などが、可決、同意、承認、採択されました。

議員など提出
◆意見書
○中東情勢の影響を受ける生活者及び事業者への支援を求める意見書
○皇室の伝統を踏まえた安定的な皇位継承を確保するための法整備の早期実現を求める意見書
○自衛官の処遇等の改善及び退職自衛官の再就職促進に関する意見書
○台風第6号による農作物等の被害に対する支援を求める意見書

知事提出
◆予算
○令和8年度一般会計補正予算

◆条例
○職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

◆人事
○副知事の選任について

◆報告
○地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

◆その他
○法人に対する出資について

請願
○「結城紬」の振興に関する請願
○「土浦協同病院なめがた地域医療センター」の病院機能回復を求める請願

※意見書および請願の全文は議会ホームページを、ご確認ください。



高橋 直子 議員
いばらき自民党
土浦市選出

レールがつながう
その先の土浦の未来
議員 TX土浦延伸構想は、土浦の未来、そして茨城県の将来をも大きく左右する重要なプロジェクトである。今後のスケジュール感と若者・将来世代に選ばれるまちづくりの実現に向けた取り組みは。知事 2030年頃に想定される次期交通政策審議会の答申にTX土浦延伸が位置付けられることを目標にしている。また、若い世代の声を把握や理解促進を図り、魅力あるまちづくりに向けて土浦市や関係者との議論を進めていく。

理念だけで終わらせない
女性活躍の推進
議員 女性活躍を推進するには、常時雇用労働者数100人以下企業が一般事業主行動計画※1を策定し、職場環境改善などにつなげることが重要である。今後どのように計画策定を推進していくのか。産業戦略部長 国や市町村などと連携し、周知啓発や伴走支援を通じて、全国上位の計画策定届出数を目指して積極的に取り組んでいく。(ほかに、すべての子どもたちに6年間の予防歯科を根付かせる取組、低年齢化するオンラインギャンブル問題への対応なども質問)



2045年の土浦の未来イメージ図(議員作成)



横田 透 議員
いばらき自民党
つくばみらい市選出

本県の新たな産業として、アニメやeスポーツなどのコンテンツ産業の創出・育成
議員 コンテンツ産業の基盤が弱い本県で、新たな産業として創出するためには、産業を根付かせる取り組みと業界の注目を集める取組みを連携して進めていくことが必要だと考えるが、所見は。知事 県総合計画に「クリエイティブ・コンテンツ産業の振興」を掲げ、注力している。アニメ産業の人材育成や働く場の確保、eスポーツの公式大会誘致などにより、若者が集い「楽しさ」あふれる茨城づくりに全力で取り組む。

県立笠間高等学校メディア芸術科でのアニメーション教育
議員 県立笠間高等学校メディア芸術科でのアニメーション教育について、若者が集い「楽しさ」あふれる茨城づくりに全力で取り組む。



県立笠間高等学校メディア芸術科でのアニメーション教育

ことば ※1【一般事業主行動計画】…女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、企業が自社における女性活躍に係る状況把握、課題分析を踏まえ、目標を設定するとともに、その目標の達成に向けた具体的な取り組みを策定したもの。
※2【キチヌ】…クロダイの仲間で汽水域にも進入する。甲殻類・二枚貝を食べる。南方の魚だが近年、那珂川や涸沼で増加している。

常任委員会の審査から

営業戦略農林水産委員会

総務企画委員会

シン・いばらきメシ総選挙2026^{*}への取り組みは伴走支援などにより、ご当地グルメとしての定着化を図る

問 10月に開催予定のシン・いばらきメシ総選挙2026には、前回の課題を踏まえ、どのように取り組むのか。

答 前回はグルメがイベント限定の提供になるなど、定着化に課題があった。今回はご当地グルメとしての定着可能性などを審査項目に加えるほか、専門家による助言や販路拡大に向けた伴走支援を行い、グルメの定着化を図る。

問 県では、昨年度から複数基金の一括運用に取り組んでいるが、昨年度の実績と今年度の基金運用の取り組みは。

答 昨年度は債券運用を拡充するなど、金利上昇の中で運



前回総選挙のスイーツ部門
グランプリグルメ
「ダイヤモンドブラン」

用機会を捉え、運用益は約16億円の増となった。今年度は、運用可能額を拡充の上、800億円程度の債券を購入するなど、運用益の確保を図る。
(ほかに、プロスポーツ振興への支援や中東情勢の影響把握と対応なども質問)

中東情勢の影響で資材費が高騰する中、台風第6号被害への県の対応はまず、被害の全貌把握に努める

問 中東情勢の影響により、資材費や燃料費が高騰する中、台風第6号の影響で農作物被害に加え、ハウスの倒壊やビニールの破損などの被害が発生したが、県の対応は。

答 まず、被害の全貌把握に努める。保険による対応が基本と考えているが、中東情勢の影響なども勘案しながら、適切に対応していく。

問 茨城空港利用者に対し、県内の有名な観光地だけでなく、県内全域を幅広くPRし、全県的な観光振興につなげるべきと考えるが、対応状況は。

答 就航先からのインバウンド誘客では、ひたち海浜公園



さらなる誘客拡大を目指す
茨城空港

や偕楽園など知名度ある観光地のほか、果物狩りなども含め主要な観光地以外への立ち寄りも引き続きPRしていく。
(ほかに、小規模土地改良区の運営状況と合併、パブリシティ活動の展開とSNSを活用した魅力発信なども質問)

土木企業立地推進委員会

防災環境産業委員会

結城紬の重要無形文化財指定70周年に向けた取り組みは出展によるPRや新商品開発を進めていく

問 結城紬が重要無形文化財に指定されてから70周年となる記念すべき年に、県はどういった取り組みを進めるのか。

答 全国の伝統工芸品を展示販売する「青山スクエア」への出展によるPRを、昨年度に引き続き行う。加えて、魅力ある新商品開発などの取り組みを、産地や市と連携して進める。

問 近隣の県でもクマが目撃されている中で、県の対策は。

答 クマの出没状況を迅速に把握し、県民への注意喚起を図る。また、出没時の対策として、市町村の要請に応じて捕獲者を派遣する体制を整備



結城紬反物

するとともに、スキルアップのための訓練や研修などの取り組みも充実させていく。
(ほかに、茨城県企業支援型奨学金返還支援事業、新産業廃棄物最終処分場「エコみらいひたち」の整備状況なども質問)

企業局における危機管理対策は災害対策基本マニュアル策定や訓練などにより災害対応力を強化している

問 近年、自然災害が激甚化・頻発化しているが、企業局では、どのように危機管理対策に取り組んでいるのか。

答 災害対策基本マニュアル策定や訓練などにより災害対応力を強化している。また、台風第6号でも河川増水による原水濁度上昇が生じたが、浄水処理の強化により被害なく送水を継続できた。

問 昨今の中東情勢により、資材価格の高騰や資材不足が生じていると聞くが、県発注工事での対応は。

答 資材価格に急激な変動が見込まれる場合には、臨時の市況調査を行い、予定価格に



企業局における防災訓練の様子

反映させている。また、資材不足により施工が進まないなど特殊な事情が生じた場合には、受発注者協議の上、工期延長など柔軟に対応する。
(ほかに、土浦港および周辺開発の今後の対応、工業団地の賃貸借契約割合なども質問)

文教警察委員会

保健福祉医療委員会

災害に備え、新県立病院を早期に整備すべきではないかスピード感を持って基本構想・基本計画の検討を進める

問 発生予測が困難な災害に備えるため、新県立病院を早期に整備すべきと考えるが、所感は。

答 2034年度までの開院を目指し、ワーキンググループでの検討を重ねるとともに、関係機関との連携を図りながら、基本構想・基本計画の策定を着実に進めるなど、スピード感を持って新県立病院の整備に取り組む。

問 救急搬送体制の充実を図るため、ドクターカーの一層の活用が必要と考えるが、現状と今後の取り組みは。

答 ドクターカーは県内10施設に配置されており、令和7



再編が予定されている県立中央病院

年度の運行実績は約2700件である。今後も医療機関や市町村などの関係機関と継続的に意見交換を行い、さらなる運行体制の充実に努める。
(ほかに、児童相談所と警察の連携、がん検診受診率向上への取り組みなども質問)

茨城県警察本部における最大の課題は最重要課題は匿名・流動型犯罪グループへの対策

問 難しい社会環境の中、今の茨城県警察本部において、最大の課題は何か。

答 最重要課題は匿名・流動型犯罪グループへの対策だと考える。また、県民の体感治安向上に向けた犯罪総量の抑制や、諸問題への対応のための人的基盤や装備資機材など警察基盤の整備も重要である。

問 デジタル併願制の在り方も含め、3年後、5年後の県立高校の入試を考えたときに、さらなる制度改革について、どのように考えているのか。

答 国の検討状況を注視しつつ、今後行われる学習指導要領の改訂も含め、今回導入す



特殊詐欺被害の防止に関する広報

議会改革度調査 2025 都道府県部門 茨城県議会は5年連続で第1位に輝きました

令和3年3月に設置された茨城県議会改革推進会議の第一次答申を踏まえ、議会改革を進めている茨城県議会は、令和8年4月に発表された「地域経営のための議会改革度調査2025」(実施主体：早稲田大学デモクラシー創造研究所)において、47都道府県議会の中で、5年連続で第1位となりました(調査に回答した市区町村を含めた全ての議会においても第7位です)。

県民の皆さまの視点に立ち、県議会がこれまで積み重ねてきたさまざまな議会改革の歩みを止めることなく、前へ進めてきたことが評価されたものであり、今回の結果を糧とし、今まで以上に県民の皆さまの一人一人の声を真摯に受け止め、地域の声を県政に反映し、県全体の発展につなげられるよう、公正・円滑な議会運営に引き続き努めてまいります。

茨 城 県 議 会 の 議 会 改 革 の 主 な 取 り 組 み

政策力の強化 新しい技術の活用や政策提言などの取り組み

- ・未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会で業務の効率化などを提言
- ・議員提案政策条例を制定(茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例の一部を改正する条例)

主権者の参画 住民の意見を政策に反映させる取り組み

- ・常任委員会の出前委員会を開催し、提携大学の学生との意見交換を実施
- ・常磐大学の学生と「選挙とまちづくり」をテーマとした意見交換を実施

議会機能の強化 議会全体の機能強化のための取り組み

- ・議会に対して報告を義務付けられた議員提案政策条例の評価・検証を実施
- ・議会版BCP(業務継続計画)の見直し



議長と学生との「選挙とまちづくり」をテーマとした意見交換会の様子(令和7年11月21日)

第2回委員会(6月12日)では、有識者から、小児・周産期医療の重要性や課題などを説明いただき、意見交換を行うとともに、執行部から、救急・小児・周産期の医療提供体制の現状と課題などについて説明を受け、質疑が行われました。

本委員会(西野一委員長)は、県民の命を守る医療に関する諸方策の在り方について調査検討を行うため、本年3月に設置されました。第1回委員会(5月15日)では、調査方針および調査活動計画を決定したほか、有識者から、医師偏在対策・病院再編の事例を説明いただき、意見交換を行いました。その後、執行部から、医療提供体制全体の現状と課題などについて説明を受け、質疑が行われました。

「県民の命を守る医療に関する調査特別委員会」を開催しました



中央に西野一委員長、その右隣に金子晃久副委員長、ほか13名の調査特別委員会委員

決算特別委員会を設置しました

令和7年度茨城県一般会計決算、同特別会計決算および同公営企業会計決算を総合的かつ一体的に審査するため、15名の委員をもって構成する決算特別委員会を設置しました。今後、決算の総括的な概要について説明聴取した後、部門別審査を行い、第4回定例会の開会日に決算関係議案の採決を行う予定です。選任した15名の委員は次のとおりです。

委員長 鈴木 将			委員長 岩澤 信		
副委員長 水柿 一俊			副委員長 八島 功男		
委員 石井 邦一			委員 大足 光司		
委員 村上 典男			委員 櫻井 信幸		
委員 坂本 隆司			委員 江尻 加那		
委員 横田 透			委員 うの のぶこ		
委員 瀬谷 幸伸			委員 秋山 政明		
委員 諸橋 太一郎					

県議会ホームページをリニューアル！

県議会では、県議会の活動を県民の皆さまへ迅速に分かりやすくお伝えできるよう、ホームページでの情報発信を行っています。

この度、新たに3つのコンテンツを追加しました。

①茨城県議会キーワードビュー

議会の会議録をAIで分析し、議会で話題のキーワードやトレンドをグラフなどで可視化。県議会の「今」が一目で分かります。

②県の主な事業への意見募集

県が進める主な事業などについて、県民の皆さまから広くご意見を募集しています。

③茨城県議会PR動画

令和8年第2回定例会を振り返るショート動画を公開しています。

今後とも、

県議会への理

解と関心を深

めていただけ

るよう、より

充実した情報

発信に努めて

まいります。



茨城県議会ホームページ

議会人事

◆議員辞職など

6月2日付で戸井田和之議員(石岡市選挙区)が辞職されました。

これに伴い、同日付で川口政弥議員が予算特別委員会委員に選任されました。

7月12日付で金子敏明議員(かすみがうら市選挙区)が退職されました。

委員会活動

総務企画委員会 (黒部博英委員長)

自動運転EVバスの定常運行と持続可能エネルギーの取り組みを調査 (5/14)

常陸太田市役所 (常陸太田市)

常陸太田市では、令和 5 年度から自動運転 E V バス「じょっピー」を定常運行しています。令和 6 年度からは運行エリアを拡大し、商業施設および旧商店街を中心としたルートを 365 日休まず運行しているほか、現在は特定条件下における完全自動運転（自動運転レベル 4）の運行に向けた取り組みを進めています。

実際に市内を体験試乗した後、取り組みの内容について説明を受けました。



自動運転 E V バス「じょっピー」を体験試乗する委員

常陸太陽の庭 (常陸大宮市)

常陸太陽の庭は、ソーラーシェアリングなどによる持続可能エネルギーを活用した観光農園です。栽培方法を工夫して農作物の品質の均一化や減農薬などを行い、高品質ブランドの開発に取り組むほか、加工品を販売し 6 次産業化を進めています。

事業内容などについて説明を受けた後、施設内を視察しました。



施設を視察する委員

防災環境産業委員会 (磯崎達也委員長)

IT人材育成強化およびクマ被害に備えた取り組みを調査 (5/20)

茨城県立情報テクノロジー大学校 (水戸市)

茨城県立情報テクノロジー大学校は、IT 人材育成強化のため、本年 4 月に茨城県立産業技術短期大学校（IT 短大）を 4 年制の大学校に改編し開校しました。

入学後 2 年間の「専門課程」では、高度な Web システムの開発・構築に携わるコースなど全 5 コースがあり、2 年間の課程を修了した後は、「応用課程」への進学もしくは就職を選択することができます。

大学校の事業概要の説明を受けた後、校内を視察しました。



茨城県立情報テクノロジー大学校の説明を受ける委員

茨城県狩猟者研修センター (笠間市)

茨城県狩猟者研修センターは、クレー、ライフル、空気銃の射場および研修室を有しており、狩猟免許試験の実施のほか、近年他県で頻発しているクマ被害に備えた射撃訓練や研修会の会場としても使用されています。

センターの概要や取組内容について説明を受けた後、施設を視察しました。



施設を視察する委員

保健福祉医療委員会 (豊田茂委員長)

茨城県立医療大学と Diverse Village USHIKU などを視察 (5/21)

茨城県立医療大学 (阿見町)

茨城県立医療大学は、看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、診療放射線技師などの医療専門職を養成するとともに、リハビリテーション医療を提供しています。

特定の職種だけではなく、複数の職種が連携する多職種連携を行っていることや、医療系大学として全国で唯一付属病院があることで大学教員による現場での学生指導が行えることが教育の特色です。

医療従事者の養成と県内への定着の状況および付属病院の状況について説明を受けるとともに、大学および病院施設を視察しました。



茨城県立医療大学の説明を受ける委員

Diverse Village USHIKU (牛久市)

Diverse Village USHIKU は、障害者の直接支援、企業の雇用支援、福祉施設やサポート機関との連携を行う障害者雇用の支援拠点で本年 1 月に開設しました。

施設では、ロースタリー型、屋内農園型、サテライトオフィス型といった多様な就労形態をワンフロアで提供し、利用企業が障害者を直接雇用する仕組みを構築している点が特徴です。

障害者雇用支援の取り組みや、施設の機能・役割について概要説明を受けた後、施設内の視察および意見交換を実施しました。



Diverse Village USHIKU の説明を受ける委員

閉会中の

営業戦略農林水産委員会 (村田康成委員長)

農業の好循環を目指した「みらい型農業」と県産品の海外への輸出の取り組みを調査 (5/18)

つくばみらい市役所 (つくばみらい市)

つくばみらい市は、市の農業が持続可能なものとなるよう、農業の好循環を目指した「みらい型農業」に取り組み、生産者の意欲向上や米の品質向上を図るため、米・食味分析鑑定コンクールの国際大会も誘致するなど、特色ある農業施策を展開しています。

市の農業政策の概要をはじめ、スマート農業の取り組みや企業と連携した持続可能な農業の推進、第27回米・食味分析鑑定コンクール国際大会の開催結果などについて説明を受けました。



「みらい型農業」の取り組みについて説明を受ける委員

柴沼醤油醸造株式会社 (土浦市)

柴沼醤油醸造株式会社は、世界各国の文化や嗜好に合わせた商品開発に積極的に取り組み、欧州や中東など約60か国に輸出を展開するなど、海外市場への販路拡大を進めています。令和2年度には「輸出に取り組む優良事業者表彰」において、農林水産大臣賞を受賞されるなど、その先進的な取り組みは高く評価されています。

事業内容や商品開発の取り組み、海外輸出の状況や今後の展望について説明を受けた後、醤油製造の現場を視察しました。



海外への輸出の取り組みについて説明を受ける委員

土木企業立地推進委員会 (坂本隆司委員長)

中丸川河川改修事業とJX金属株式会社茨城事業所ひたちなか地区を調査 (5/25)

中丸川河川改修事業 (ひたちなか市)

中丸川上流域におけるひたちなか市街地の都市化が進む中、2016年8月豪雨では、床上・床下浸水の被害が発生しました。このような浸水被害からの防止・軽減を図るため、県ではひたちなか市下水道事業と連携した河川事業として調節池整備および河川改修を進めており、現在、調節池の堤体および周囲堤などの整備を実施しているところです。

常陸大宮土木事務所から事業概要や工事内容について説明を受けるとともに、調節池整備の現場を視察しました。



中丸川河川改修事業の説明を受ける委員

JX金属株式会社 茨城事業所ひたちなか地区 (ひたちなか市)

JX金属株式会社 茨城事業所ひたちなか地区(ひたちなか新工場)は、本年3月に竣工しました。追加取得を予定している常陸那珂工業団地拡張地区を含め、将来的に約32ヘクタール規模の工場となる計画であり、現時点ではその一部の敷地において、最先端の半導体材料の生産および金属リサイクル原料の受け入れ・サンプリングが行われています。

本工場の概要について説明を受けるとともに、工場内を視察しました。



茨城事業所ひたちなか地区(ひたちなか新工場)の説明を受ける委員

文教警察委員会 (石塚隼人委員長)

外国人との秩序ある共生社会の実現に向けた取り組みを調査 (5/13)

坂東市役所・茨城県境警察署 (坂東市)

坂東市の外国人人口は令和8年3月31日現在5,112人で、市の人口の9.9%を占め、10年間で約2.7倍に増加しています。

外国人人口の増加に伴う坂東市の現状および課題について、市担当職員から説明を受けるとともに、坂東市を管轄している境警察署および県警本部の職員から、市内に多く所在しているヤードの現状や対策、在留外国人や地域住民に対する働き掛けについて説明を受けました。



坂東市役所・茨城県境警察署から説明を受ける委員

茨城県立石下紫峰高等学校 (常総市)

茨城県立石下紫峰高等学校は、県の高等学校外国人生徒支援重点校に指定され、アジア各国を中心に18か国から多様な母語の外国人生徒を受け入れており、外国人生徒支援の拡充に取り組んでいます。

言語能力に応じた習熟度別学習や外国人生徒支援コーディネーターとの連携、外国人生徒の特例入学選抜の拡充など、外国人生徒支援について説明を受けた後、外国人生徒と意見交換をしました。



外国人生徒と意見交換をする委員

「大学連携推進会議」を開催しました

大学連携推進会議（小松崎敏紀座長）は、県政の重要課題に関する学生からの意見聴取や大学連携のさらなる推進に向けた協議を行うため、令和 8 年第 1 回定例会で設置されました。

第 1 回会議（4 月 28 日）では、調査方針および調査活動計画を決定したほか、大学生との意見交換に向け、有識者を招いてファシリテートの研修を行いました。

第 2 回会議（5 月 29 日）では、「いばらき、ぶつちやけ会議。」と題し、県議会と連携協定を締結している茨城大学・常磐大学・流通経済大学・茨城キリスト教大学の学生 31 名が参加して、「住み続けたい茨城県とは？」をテーマにグループワークを行いました。学生からは、公共交通の充実や若者が楽しめる施設づくりなど、茨城県への期待を込めた思いが出されました。



5月29日に開催した第2回会議の様子

県議会主催の講演会を開催しました

6 月 2 日、県議会主催の講演会を県議会議事堂大会議室で開催しました。

講師には、早稲田大学名誉教授の北川正恭氏および同大学デモクラシー創造研究所地域経営部会長の中村健氏をお招きし、「地方自治における議会改革の更なる推進を」と題し、お話をいただきました。

北川氏からは、ご自身の三

重県知事時代の経験に基づき、議会および執行部の改革に必要となる心構えや県議会が果たすべき役割などについて、中村氏からは、AI 時代の議会の在り方への考察などについてご講演いただきました。本県議会のさらなる改革につながる、大変有意義な講演会となりました。



きたがわまさやす
北川正恭氏による講演の様子

なるほど



県議会



茨 ひより
(茨城県公認 VTuber)

議長と副議長の役割は？

県議会の代表

議長と副議長は、議員の中から議員による選挙で選ばれます。議長は議会を運営し、議会を代表します。副議長は議長が欠けたときなどに議長の代わりを務めます。



県議会と知事はどんな関係があるの？

車の両輪のような関係

知事は、県の予算や取り組みの案を議会に提案し、議会はその内容を話し合って決定します。このように、お互いをチェックしながら協力する関係は、「車の両輪」に例えられます。



私の住む地域の議員はどんな人？

調べてみよう！

県議会ホームページでは、各選挙区の議員を紹介しています。ぜひご覧ください。



定例会がないとき、議員は何をしているの？

次の議会のための準備

定例会以外の期間も、委員会を開いて県の取り組みを話し合ったり、県民の皆さんの意見を聞いたり、他の自治体の先進的な取り組みを調査するなど、次の議会に向けた準備を行っています。



県議会を傍聴しませんか

県議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。県民の皆さまにより選出された県議会議員がどのようなことを審議しているのか、目の前でご覧いただける身近な機会ですので、ぜひお気軽にお越しください。

なお、本会議の傍聴を希望される方は、県議会議事堂 5 階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できます。

その他、団体での傍聴や常任委員会の傍聴などの詳細については、県議会事務局議事課までお問い合わせください。



本会議場の傍聴席の様子

〈児童や乳幼児をお連れでの傍聴について〉

- ・親子席を用意しております。
- ・授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には、部屋をご用意いたしますので、職員にお気軽にお声掛けください。
- ・県庁内保育所や議事堂近隣の民間保育所での託児サービスも行っております（託児サービスのご利用には、事前申し込みなどが必要です）。

お問い合わせ先

（傍聴に関すること）

議会事務局議事課
電話 029・301・5634



（託児サービスに関すること）

議会事務局総務課
電話 029・301・5613



令和 8 年第 3 回定例会会期日程(28日間)

月日	曜	議 事 予 定
9.1	火	議会運営委員会、本会議（開会、知事提出議案説明）
2	水	
3	木	
4	金	議会運営委員会、本会議（代表質問・質疑）
5	土	
6	日	
7	月	本会議（代表質問・質疑）
8	火	議会運営委員会、本会議（一般質問・質疑）
9	水	本会議（一般質問・質疑）
10	木	本会議（一般質問・質疑）
11	金	本会議（一般質問・質疑、議案常任委員会付託）
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	常任委員会
16	水	常任委員会
17	木	議会運営委員会、本会議（予算関係議案常任委員長報告、予算関係議案予算特別委員会再付託）
18	金	決算特別委員会
19	土	
20	日	
21	月	（敬老の日）
22	火	（国民の休日）
23	水	（秋分の日）
24	木	予算特別委員会
25	金	県民の命を守る医療に関する調査特別委員会
26	土	
27	日	
28	月	議会運営委員会、本会議（委員長報告、採決、閉会）

本会議は午後1時から、常任委員会は午前10時30分から開会の予定です。